

対象事業精算額内訳書

申請者の名称

社会福祉法人〇〇福祉会

記載例

(単位 円)

事業所名	施設定員数	総事業費 A	対象経費の 実支出額 B	寄付金その他 の収入額 C	差引額 (A-C) D	基準額 E	補助金 所要額 F	交付決定額 G	
特別養護老人 ホーム〇〇	100	700,000	700,000	0	700,000	700,000	700,000	700,000	
		例1：補助金を交付額そのまま割り振った場合。					0		
					0		0		

※ 総事業費Aは添付の明細書等の写しで示される額の合計と一致すること、一致しない場合は説明資料（任意様式）を添付すること。

※ 補助金所要額Fは 差引額Dと基準額Eのどちらか少ない方の額を記入

対象事業精算額内訳書

申請者の名称

社会福祉法人〇〇福祉会

記載例

(単位 円)

事業所名	施設定員数	総事業費 A	対象経費の 実支出額 B	寄付金その他 の収入額 C	差引額 (A-C) D	基準額 E	補助金 所要額 F	交付決定額 G
特別養護老人 ホーム〇〇	100	685,500	685,500	0	685,500	700,000	685,500	700,000
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>例2：補助金の支給額の合計が基準額に達しない場合。 補助金の所要額は、1000円未満は切り捨てになり、15,000円市への返還が必要となります。</p> </div>								

※ 総事業費Aは添付の明細書等の写しで示される額の合計と一致すること、一致しない場合は説明資料（任意様式）を添付すること。

※ 補助金所要額Fは 差引額Dと基準額Eのどちらか少ない方の額を記入

対象事業精算額内訳書

申請者の名称

社会福祉法人◎◎福祉会

記載例

(単位 円)

事業所名	施設定員数	総事業費 A	対象経費の 実支出額 B	寄付金その他 の収入額 C	差引額 (A-C) D	基準額 E	補助金 所要額 F	交付決定額 G
特別養護老人 ホーム○○	100	850,000	700,000	150,000	700,000	700,000	700,000	700,000
					0	0		

例3：補助金の支給額に法人が独自に15万円を加算して配分した場合。

※ 総事業費Aは添付の明細書等の写しで示される額の合計と一致すること、一致しない場合は説明資料（任意様式）を添付すること。

※ 補助金所要額Fは 差引額Dと基準額Eのどちらか少ない方の額を記入